

鳥海山の火山活動解説資料（平成30年10月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

上郷に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

- ・地震や微動の発生状況（図3）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

- ・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

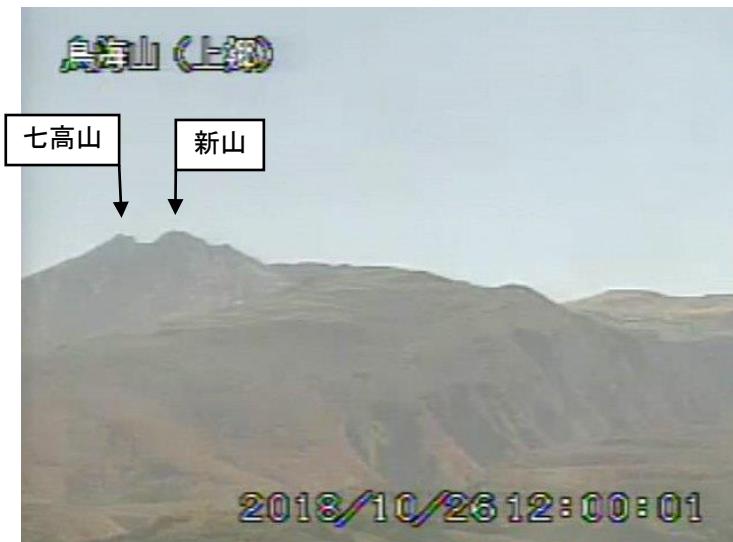


図1 鳥海山 山頂周辺の状況（10月26日）

- ・上郷（山頂の北西約10km）に設置している監視カメラの映像です。

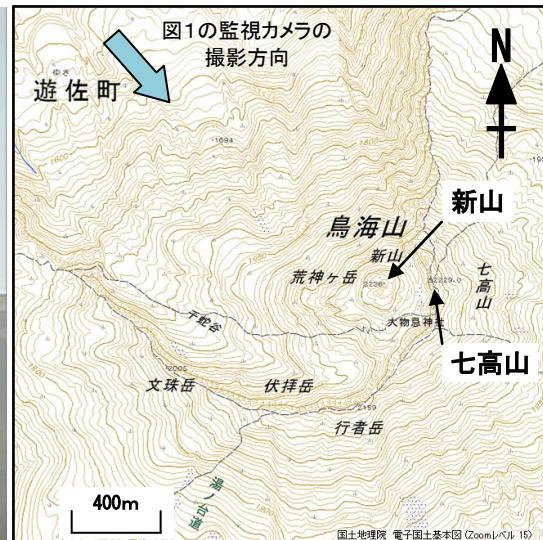
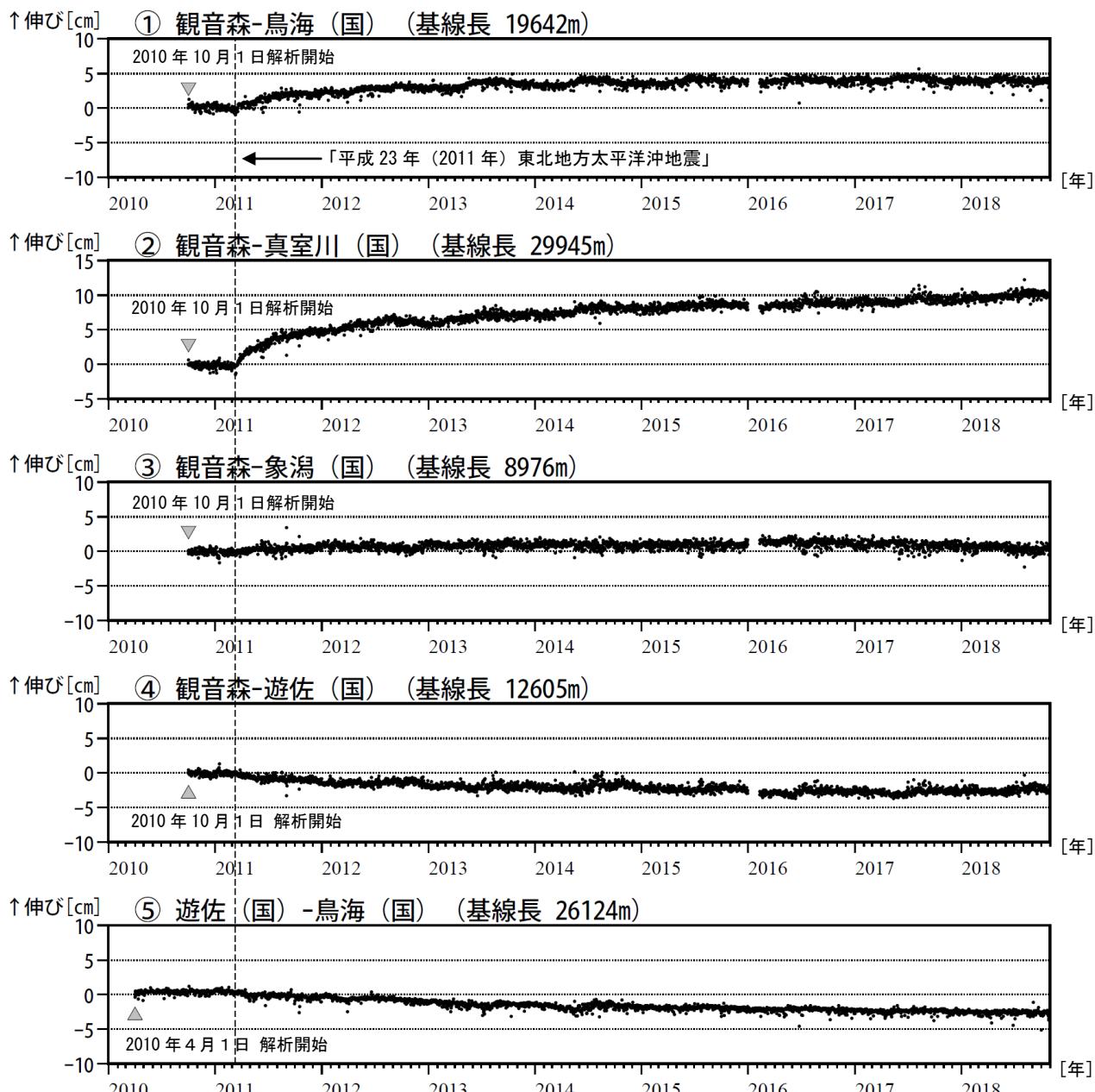
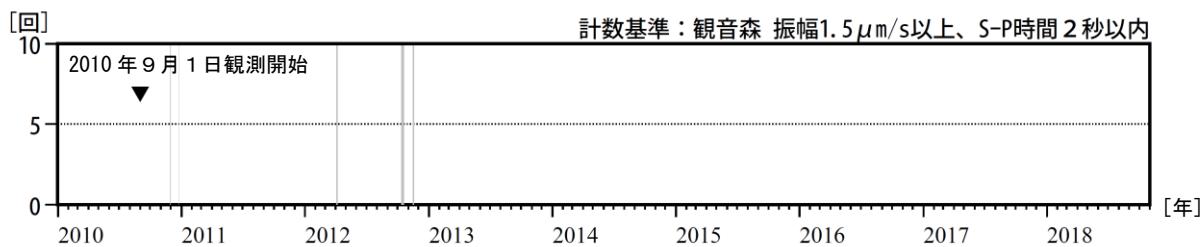


図2 鳥海山 新山と七高山位置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年11月分）は平成30年12月10日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大大学のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

図 4 鳥海山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2010 年 4 月～2018 年 10 月)

- ・「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①～⑤は図 6 の GNSS 基線①～⑤に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・(国) は国土地理院の観測点を示します。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

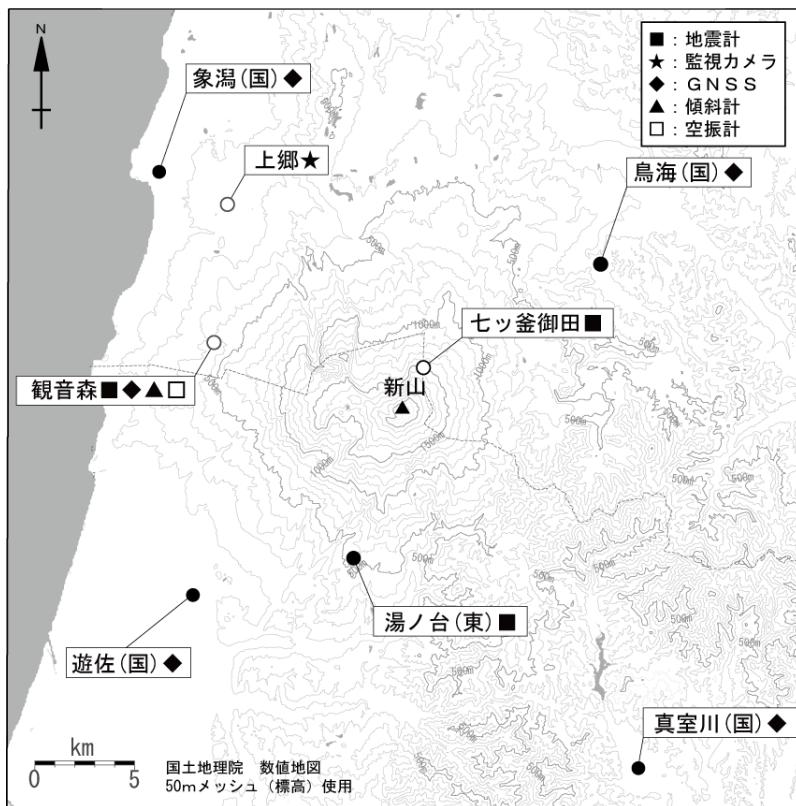


図5 鳥海山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学

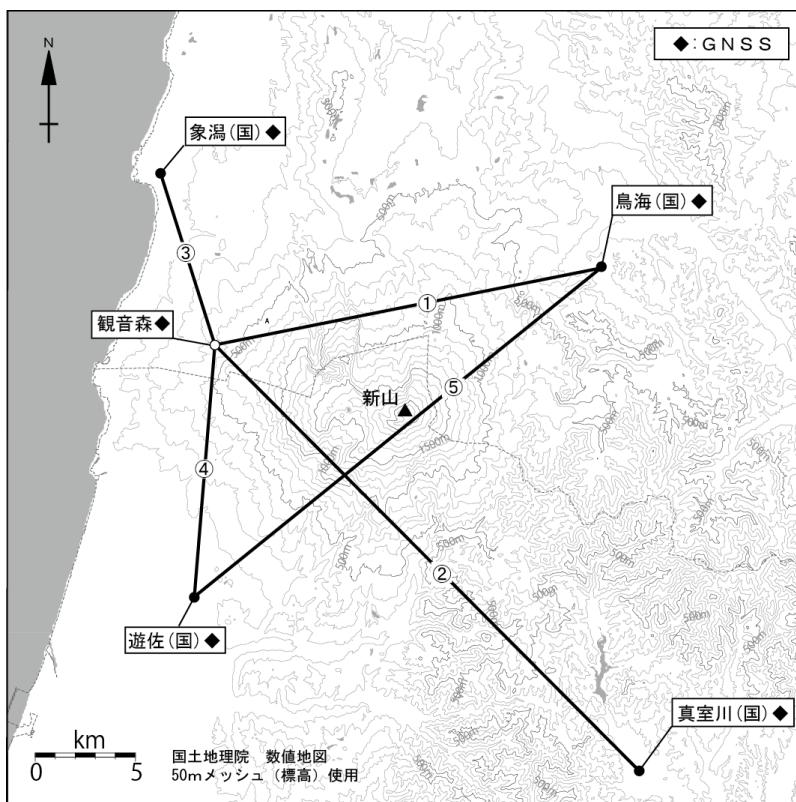


図6 鳥海山 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院